

# 同窓会報 Vol. 59

発行：2015年8月1日 第59号  
横浜市立南高等学校  
・附属中学校同窓会  
事務局：電話 045-822-1910  
FAX 045-826-0818  
URL <http://nanko-ob.com>

## 同窓会のこれから

同窓会 会長 石川 直弘（9期）

53期生から開催してきた「二十歳の同期会」は今年の1月に57期生の会を行いました。これまでは50人を集めるのに苦労してきましたが、今回は当初の目標であった100名をいっきに大きく超えて、200名あまりの新成人同窓生が集まり、会場が熱気であふれかえりました。同期生や先生方との語らい、またOBとの懇談などで盛り上がり、あっという間の楽しい時間でした。詳細は本誌の同期会報告と同窓会ホームページをご覧ください。また初めてアンケートをとりましたところ、会場などで改善点はあるものの同窓会の事業として定着させていく方向が確認されました。



また今年度の新規事業として、学年色のクリアファイルを校名、校章、同窓会名入りで作り、全校生徒に贈呈しました。今後は入学時と卒業時に記念として贈ります。さらに、卒業アルバムの電子化をおこない、永久保存に対応することも出来ました。

これらの事業が行えるのも、また全会員の皆さまに引き続き会報をお送りできるのも総会時にお願ひしたご寄付のおかげです。今回もお願いすることになりますが、同窓生の皆さまには無理のない範囲で、多くの方々のご協力をお願いいたします。

今年度から卒業生が5クラス200名となり、終身会費による運営が厳しさを増していますが、同窓生の絆と母校の発展のために、同窓会の運営組織を恒久的なものにして、さらなる飛躍を期したいと考えています。同窓生の皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## 地域に愛され続ける南高校

南高等学校 校長 鈴木 英夫

5月7日、生徒会担当の原教諭とともに大久保・最戸地区社会福祉協議会が主催する「歩こう会」に参加しました。まち歩きのコースに南高校見学を組み入れてもらえないかという社会福祉協議会の要望に生徒会が応えて、生徒会本部と有志がまち歩きに同行し、校内の案内も行うことになりました。高齢者の参加が多い中、高校生が地域の方たちと語り合いながら歩く光景は、南高生の高い社会性が表れているようでした。また、校内見学も組み入れるとともに、校内では料理部もクッキーでおもてなしするなど協力してくれました。参加者の皆さんと語り合うと、ご自身やご主人、お子様など多くの南高OBがいることがわかりました。地域が南高を誇りに思う気持ちは、校舎建設以来変化していないのかもしれないと感じました。



27年度南高校は全国5,000校のうち112校だけが選ばれるスーパーグローバルハイスクールの指定を頂くことができました。確かな学力を基礎に、世界の課題に関心を持ち、具体的な体験や探究活動を通して、グローバル化した社会で活躍できる若者を育てるという国家戦略です。これからの南高生は、地域に愛され、地域社会への貢献活動などで現実の日本社会で社会性を獲得するとともに、確かな学力と学びへの探究心を育て、高い志と高い学力で日本の国内外で活躍する存在に育ち、ますます地域社会の誇りとなってほしいと思っています。



## 南高祭同総会ブース『思い出箱』に参加して

同窓会副会長 高田 桂子 (18期)

「南高祭」この言葉は卒業生にとって、懐かしく様々な思い出が甦る素敵なキーワードだと思っています。

現役時代の私は、只々忙しく無我夢中な3日間を過ごした気がしています(当時は、体育・展示・舞台と続きました)40年以上経った今でもあの日の記憶は鮮やかです。

当時の同級生に会っても、時が止まったように変わらなく感じるのは不思議です。

さて、同窓会ブース『思い出箱』では、本年度もアルバムの展示を中心にお茶とお菓子のサービスを行いました。

来訪者は始めた年から比べると3倍に増え、1,300名余りと、賑やかな2日間でした。生徒会の参加で舞台の部のビデオも流して益々盛り上がった事に感謝しております。

今後は、アルバムの保存方法や新しい展示など、やりたい企画、やらねばと強く願う企画が満載です。皆さまのご提案やご意見もぜひお聞かせください。

こうして、卒業してから時が過ぎても南高祭に参加できたことに喜びを感じております。そして、今回も理事だけでなく色々な形でお手伝い戴いたOBの方々にも感謝しております。

例年、9月初旬に行われる南高祭、南高校に訪れる良い機会ですので、ぜひお気軽にお越しください。



## 59期同期会

山口 航 (59期)

2015年5月17日、59期の行事としては珍しく晴天に恵まれ、59期同期会が開催されました。卒業生124人や先生方が南高の食堂を賑わせました。

5月病になったという乾先生の乾杯の挨拶で始まったこの会は、富永くん・明田さんの珍しい司会者コンビで進み、立食やビンゴなどが行われました。終始和やかな雰囲気、時間はあっという間に流れてゆきました。先生方を含む「チーム59期」のほとんどが4月から新天地での生活を始めて

いる中で、久しぶりに“ふるさと”に戻り、愉快的仲間たちと話した時間は楽しく、そしてほっとするひとときでした。たくさんの方の時間と経験を共有してきた仲間たちは素晴らしいと改めて感じました。

「チーム59期(やっぱり少し恥ずかしいチーム名だけど)」が南高に集うことはもうありませんが、これからも南高で出会った最高の“チームメイト”たちとの繋がりを大切にしていきたいと思います。2年後、また少し大人になった「チーム59期」と過ごせる時間を楽しみにしています。



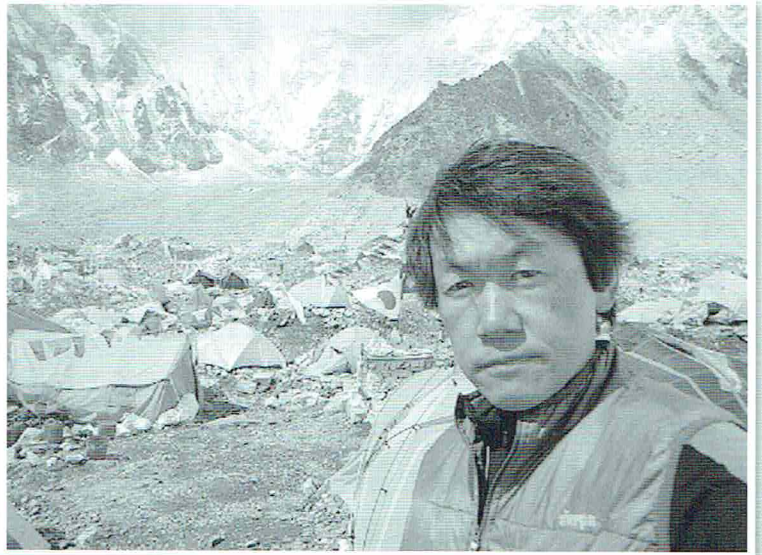


## 南高魂 百まで

高橋 克昌 (32期)

2012年1月、何気なくテレビをつけた時に目に入った映像が、「NHKスペシャル エベレスト 世界最高峰を撮る」という番組でした。映像の美しさに見惚れ、厳しい山を登って撮影する苦労を想像しながら、おもわず最後まで見てしまいました。

後日、この番組を撮影したカメラマンが南高卒業生だと聞き、どうしても一度お会いしてお話を聞きたいと思いました。高校を卒業してからどのような経緯でこの番組に携わったのか、山を登ることとは、それを映像に記録することとは…いかつい山男を想像していましたが、お会いしてみれば優しい笑顔の素敵な方でした。(取材：高田)



エベレストにて

南高時代は山岳部と写真部に入って活動していました。山岳部は国語の本間先生が顧問で、夏山から雪山まで様々な山に連れて行ってくださり、山の魅力をぞんぶんに教えて頂きました。大学に進んでも同じように山岳部と写真部に入り、年間100日近くを登山に費やししながら、将来は写真の経験を生かして映像関係の仕事につきたいと考えていました。縁あってテレビ局に就職し、それから20年近く報道のカメラマンの仕事をしています。事件や事故、災害の映像をビデオカメラで撮影するのが主な仕事ですが、学生時代の経験を生かして、山のドキュメンタリー番組に挑戦する機会も得ました。谷川岳で遭難救助に向かう山岳警備隊に密着したり、北極圏にそそり立つ千メートルを超える大岩壁に挑む日本人クライマーに同行、直径10ミリのロープ一本にぶら下がってビデオカメラをまわしたり…国内外の様々な山で山岳撮影を行ってきました。そして、2011年には標高8848mのエベレストに登頂、世界最高峰からの眺めをハイビジョンカメラで撮影し、特集番組で全国のお茶の間に届けることができました。

転職の多い会社で、昨年からは長野の放送局で働いています。山に囲まれた環境ですが、御嶽山の噴火や長野県北部の地震など大災害が相次ぎ、なかなか山へ足をのばすことができません。今感じているのは、高校時代の経験が自分の人生に与える影響の大きさです。山登りもカメラも南高時代に始めたものですし、級友と世の中についてとりとめもなく語りあったこと、あの頃夢中になって読んだ作家の文章…高校時代に感じ取ったものが、結局自分の考え方や生き方の礎となっている気がします。受験勉強などそっちのけで、自由気ままに過ごせるあの南高の雰囲気、気の向くまま好きなことに没頭する余裕を与えてくれたのだと思います。おかげで大学受験ではたいへんな苦労をしましたが、かけがえのない何かを得た3年間の高校生活でした。

「三つ子の魂 百まで」と言いますが、私の場合は「南高魂 百まで」かも知れません。



問の原・矢野・簡・間宮（中等部・陸上部 20 期）先生と、オリンピック 2 連続出場の荊部法政大学教授（陸上部 32 期）を迎えて、総勢 90 名で盛大に行われました。

まず、OB 会より、現役に対して、大きく羽ばたくことを応援して「見せろ南高魂」という競技場で掲げる大横断幕を贈呈しました。

次に、来賓の先生方全員に、60 周年特製オリジナルスタジャンをプレゼントしました。

最後に、参加者全員で、校歌を歌い、南高魂の大横断幕の前で、先生方はスタジャンを着用して、記念撮影を行いました。人数が多いため、写真は 2 部構成で、そのうちの 1 枚を掲載しました。



16 時から 20 時過ぎまで、当初の時間を大幅に超過しましたが、OB 会の絆を強めることができたと思います。

また、この会合を機に、今後の OB 会活動の活性化を図るために、若手の荊部さんを中心とした、役員の刷新を行いました。

私の陸上部 15 期同期の宮崎君の娘さんと、私の娘は、父娘 2 代南高陸上部の OB です。20 期の佐々木君も、父息子 2 代の南高陸上部の OB です。

## 南期会展 20 年さまざまな形で広がる交流の輪 来年 3 月 17 回展開催 中里 寿昭（6 期）

南高校美術部 OB を中心とする南期会展は今年の 3 月に 16 回展を開催しました。お客様は 600 名超と大半が南高卒業生で、世代を超えた広がりや様々な交流、出会いが連日繰り広げられました。

出品者のメンバーは 3 期から 15 期生で、浅見先生を含めて約 20 名ですが、毎回の展覧会を目標に作品を制作しています。回を重ねるごとに、出品者メンバーの交流が深まるだけでなく、南校同窓生の交流の場として、同期会、クラス会、食事会等と会期中に様々な形で行われ、南期会展が世代を超える重層的な交流の場として利用されていることは大きな喜びです。



15 回展では音楽とのコラボレーションが実現。4 期の宝積侑子、真田浩子さんが参加するライアー（竖琴）アンサンブルと 6 期の桜井映秀さんのギターソロの演奏会を会場内で開催しました。これには 100 名近いお客さまの来場を頂きました。最近、新しく出品された方は「南期会は楽しい。もっと早く参加すれば良かった」との感想が述べられています。

阪神大震災の次の年、平成 8 年の第 1 回展から 20 年が経過しましたが、当初は「10 回展までは続けよう」と頑張ってきました。しかし、各メンバーの 20 年は平坦ではなく、すこし前は、子育て、親の介護、伴侶の介護等様々な困難や情け容赦もなく進行する加齢？年代。闘病中でも作品を出品し続けていたメンバーもいます。仲間と一緒にがんばって、良い作品を作りたい、展覧会を成功させたいの思いはメンバーみんなの共通の願いです。第 17 回南期会展は来年 3 月 22 日から、吉野町市民プラザで開催です。ちょうど桜の季節です。今後とも、ご支援のほどよろしく願いいたします。

# 会計報告②

**貸 借 対 照 表**  
 平成27年5月31日現在  
 横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会  
 (単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
手許現金	562,028	
普通貯金		
ゆうちょ銀行028支店 口座№14755511	3,125,757	
定期貯金		
ゆうちょ銀行記号50230 口座№1382761	2,300,000	
定期預金		
みずほ銀行上大岡支店 口座№6846357	1,000,000	
普通貯金振込口座140623	2,248,766	
流動資産合計		9,236,551
2 固定資産		
(1) 基本財産		
基本財産引当定期預金	1,000,000	
ゆうちょ銀行記号50230 口座№1382761		
基本財産合計	1,000,000	
(2) その他の固定資産		
母校周年行事引当定期預金	200,000	
総会関係準備引当定期預金	1,000,000	
みずほ銀行上大岡支店 口座№6846357		
その他の固定資産合計	1,200,000	
固定資産合計		2,200,000
資産合計		11,436,551
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
預り金	0	
流動負債合計		0
負債合計		0
正味財産		11,436,551

### 計算書類に対する注記事項

- 1 重要な会計方針
  - ① 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、仮払金、前払金、前渡金、前受金、立替金、預り金及び未収利息を含めることとしている。なお、当期末残高は、3に記載のとおりである。
- 2 会費収入の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

期 別	内 訳	金 額	摘 要
56期	20歳の同期会会費	188,000	
57期	20歳の同期会会費	466,000	
56期	同窓会入会金	102,000	
57期	同窓会入会金	94,000	
58期	同窓会入会金	24,000	
59期	同窓会入会金	1,820,000	
合 計		2,694,000	

3 次期繰越収支差額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期末残高
現金預金	11,056,882	9,236,551
前払金	0	0
小 計	11,056,882	9,236,551
預り金	0	0
短期借入金	0	0
小 計	0	0
合 計	11,056,882	9,236,551

4 その他の固定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

項 目	期首残高	増加額	減少額	期末残高
席巻奨励金	100,000	100,000	0	200,000
総会引当預金	500,000	500,000	0	1,000,000
合 計	600,000	600,000	0	1,200,000

5 自主企画事業費の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

(単位:円)

期 別	内 訳	金 額	摘 要
56期	20歳の同期会	443,198	
57期	20歳の同期会	973,659	
59期	卒業時の同期会	256,986	
	南高祭	86,792	
	アルバム電子化	505,440	
合 計		2,266,075	

6 母校関係費の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

(単位:円)

内 訳	金 額	摘 要
60周年行事分担金	771,000	
入学・卒業記念品代	338,390	
就学援助金	40,132	
合 計	1,149,522	

なお、上記会計報告は同窓会監事 北見 昭八(10期税理士)、  
荒川 尚美(30期)両氏による監査を受けております。

### 平成26年度 収支計算書(付記) 平成26年6月1日～平成27年5月31日

#### 【収入の部】

1.会費収入	2,694,000
入会金	
二十歳の同期会会費	
2.寄付金収入	31,000
3.広告収入	0
4.その他収入	7,970

#### 【支出の部】

1.事業費	3,611,942
自主企画事業費	2,266,075
卒業時同期会・二十歳の同期会	
南高祭 卒業アルバム電子化	
同期会奨励金	30,000
30期	
母校関係費	1,149,522
60周年行事分担金	
クリアファイル作成	
就学援助金 CDプレス料	
卒業アルバム購入費 他	
会報発行費	115,460
会報発行費(第58号)	
OB関係費	25,000
南期会・落研・バレー部	
陸上部・野球部	
地域貢献費	25,885
清掃活動費(2回分)	
2.総会費	0
発送運賃他	
3.管理費	341,359
事務費・通信費・交通費 他	
4.積立・準備金 (特別会計に入金)	600,000
母校周年行事関係	
総会関係	
5.基本財産引当金 (特別会計に入金)	0
基本財産引当金	0

収入計(A) 2,732,970

支出計(B) 4,553,301

当年度収支差額(A)-(B)

▲ 1,820,331



# 平成27年度教職員異動

## 離任者教職員(高校)

## 着任者教職員(高校)

職種・教科	氏名	異動先	職種・教科	氏名	前勤務先
副校長	手島 史喜	桜丘高校	副校長	緑川 あつ子	桜丘高校
国語	上原 哲也	横浜総合高校	国語	山内 祐介	南高等学校附属中学校
国語	内田 理恵	横浜総合高校	国語	渡邊 朋恵	戸塚中学校
地歴公民	鈴木 孝昌	金沢高校	地歴公民	千之 亜弥子	新任
地歴公民	樋口 照明	戸塚高校(定時)	地歴公民	星野 直人	金沢高校
地歴公民	古谷 信隆	横浜サイエンスフロンティア高校(副校長)	地歴公民	山森 豪	西中学校
数学	高岡 誠司	戸塚高校(定時)	数学	沼田 裕	金沢高校
数学	田島 貴之	金沢高校	数学	山口 友隆	新任
保健体育	市原 克一	横浜総合高校	美術	平野 正雄	金沢高校
書道	大谷 育子	みなと総合高校	英語	西村 秀之	南高等学校附属中学校
英語	乾 みさお	横浜総合高校	英語	藤田 由美子	東高校
英語	湯地 智之	金沢高校	英語(臨)	徳永 上総	新任
情報	山崎 旬一	金沢高校	家庭	松島 律	横浜サイエンスフロンティア高校
理科(臨)	天野 智香	南高附属中非常勤講師	情報	佐野 和夫	横浜サイエンスフロンティア高校
事務長	高橋 諒	みなと総合高校	事務長	杉浦 修次	都筑区役所
事務職員	太田 芳夫	退職	事務職員	市川 規子	南区役所

## 離任者教職員(中学)

## 着任者教職員(中学)

職種・教科	氏名	異動先	職種・教科	氏名	前勤務先
副校長	小藤 俊樹	神大寺小学校 校長	副校長	清田 英美	東部学校教育事務所指導主事室
国語	竹下 恭子	北部学校教育事務所 指導主事	保健体育	小野寺 啓司	横浜国大附属鎌倉中学校
英語	西村 秀之	南高等学校	理科	高仁 環	領家中学校
国語	山内 裕介	南高等学校	英語	岡崎 雄真	新任
理科	時川 裕樹	福岡県公立中学校	国語	海崎 隆徳	原中学校
数学(臨)	杉本 真梨奈	愛知県公立中学校	国語	齋藤 若菜	新任
			数学(臨)	川崎 真悟	早渕中学校

